

シダンゴ山(しだんごやま 758m)



今回はいつもより1時間遅い7時の出発。時々陽が差す中、水色のバス(忍足代替号)は圏央道を順調に南へと走る。東名高速の中井PAで休憩。このPAからは、建物に邪魔されながらも丹沢の二ノ塔から塔ノ岳に至る表尾根が陽を浴びてよく見えた。大井松田ICで高速を降り、246号-710号を北上して目的の田代向駐車場に到着◆現地はハイキングコースの起点らしく案内板にはいろいろなコースが紹介されている。地名の中には「タコチバ山」とか「はなじょろ道」など、戸惑うようなものがいくつか出てくる。今日登る「シダンゴ山」もその一つだ。山名の由来は山行案内に記されているが、おぼえ難いのでここでは「四団子山」とでも解しておこう◆山田さんの元気のいい掛け声で準備体操を済ませ、小林清美さんをリーダーに18名で出発。めずらしく男性比率が8/18と高い。林道を30分ほど歩いたところからスギ林に囲まれた山道へ。展望がなくやや単調な道だったが、時々キブシや野生化したミツマタの花がスパイスを利かすように目に飛び込んでくる◆宮地山、送電線鉄塔を通過して最後に女坂と男坂の分岐に出た。見栄を張って男坂を登ると10分ほどで山頂へ到達。山頂はアセビの低木が多い広場で、ほら貝を祀った祠や山名由来碑などが建っている。ここで昼食を摂り、遠くを眺めると春霞のなかに大山や二ノ塔などが東側に、北方向には檜岳、伊勢沢の頭などがみえた◆集合写真を撮り下山開始。倒木が多い林の中を1時間ほど下ると麓の寄(やどりき)部落に着き、バスは中津川を隔てた対岸の自然保養村管理センターで待っていた。川辺には河津サクラがピークを過ぎながらも赤い花をつけ、淡青緑色を帯びた河原の石と対比している。石はガイドブックにあった緑色凝灰岩だろうか◆帰りは、厚木PAでの休憩だけだったので早めの帰還となった。前日の天気予報では雷雨の予報まで出ていて心配したが、うまい具合にいい方に外れてくれてラッキー日和。来週は早くも桜の開花が予想されている。そんな春本番を予感させる和やかな山旅だった。



シダンゴ山から東側の展望

シダンゴ山から北側の展望



北市民セ 7:00→若葉駅 7:10 発→海老名 JCT 8:05→中井 PA 8:20 着 8:30 発→大井松田 IC 8:35→(R246、R710号)→田代橋駐車場 8:55 着→宮地山 9:55→鉄塔 10:40→女坂/男坂分岐 11:05→シダンゴ山頂 11:10 着(昼食) 11:50 発→分岐点 12:15→駐車場 12:50 着 13:15 発→松田 IC 13:30→厚木 PA 14:10 着 14:25)→北市民セ 15:45
@4000円(南雲記)